



ともだちたくさんつくろうね

4月1日、市内の保育園で入園式が行われました。

あやめ保育園の入園式では、大勢の父母と在園児の歓迎の中、少し緊張気味だった新園児も、自分の名前を呼ばれると「はい！」と元気に返事をしていました。これから新生活のスタートです。

主な内容

岡谷駅前地区再整備基本計画策定	2
岡谷市病院統合基本計画策定	4
高齢者保健福祉計画策定	6
みんなのページ	8
インフォメーション (おしらせ)	10
春のイベント	18

(市街地総合再生計画)策定

経緯

岡谷駅前地区再整備については、平成15年に市民懇話会を組織して市民のみなさんのご意見を提言いただくとともに、国の内閣官房都市再生本部実施による都市再生モデル調査の報告をもとに「商業・業務・都市型の集合住宅などの複合的機能をコンパクトにまとめた施設として再整備を図る」との方針を決定しました。

また平成16年度には、岡谷駅前ビル再整備基本計画調査を実施し、施設計画の素案を作成しました。

素案では、1・2階を商業と公益施設とし、3階から9階に56戸の集合住宅（分譲マンション）を配置し、別棟として業務棟（事務所など）および230台収容の駐車場棟を設置するものであります。（下記完成予想図）

市ではこの素案を基本とし、ラオカヤを中心としてその周辺部である岡谷駅施設等のゾーンおよび駅南の土地区画整理用地を含む約8.4haの区域の土地利用計画について、約20年後を目標とする将来ビジョンを、国土交通省の制度である「市街地総合再生計画」として作成し、本年3月20日、岡谷市議会全員協議会に報告しました（左図）。

岡谷駅前地区 再整備基本計画

駅前地区

平成16年度に実施した「岡谷駅前ビル再整備基本計画調査」における施設計画素案と同じ内容となりました。

駅施設等のゾーン

将来は、現在の南北自由通路に添加する形で岡谷駅舎を橋上化し、駅の南北どちらから来ても自由通路から直接改札してプラットホームに入れる計画となりました。

駅南地区

駅南の土地区画整理用地については、定住交流拠点としての施設整備を図り、併せて駐車場の設置を行う計画としました。

定住交流拠点としての施設整備は、過去に、生涯学習センターと総合福祉センターの複合館としての整備を計画した経緯があります。イルフプラザと諏訪湖ハイツの整備によって別の形で実現したことにより、その施設内容についてはまだ定まっています。

一方、今回の業務の中で、市内の全世帯を対象としたアンケート調査を実施していますが、「駅南地区でどのような施設が中心機能として望ましいですか」との問いに対して、32.8%の世帯が「医療、福祉関係施設」と最も

多くの回答がありました。このため、定住交流拠点の可能性として、現在進めている市立岡谷病院と健康保険岡谷塩嶺病院の統合後の新病院も望ましい施設の一つであるとなりました。



岡谷駅前ビル再整備完成予想図（素案）

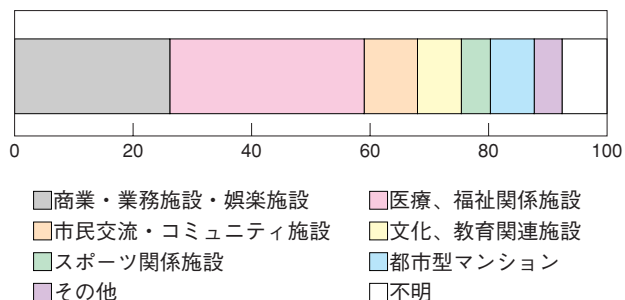
ラオカヤの再整備

中心市街地の活性化は岡谷市にとって大きな課題です。過去20年間に岡谷市の人口は約84%減少したのに対して、中心市街地における人口は約37.2%減少しました。

人が住まなくなる、生活感のない街は魅力を失い、寂れます。中心市街地は市民が集い、出会い、交流し、新しい産業や文化

◎駅南地区に望まれる中心機能（アンケート結果から）

駅南地区について望ましいと考える中心機能



駅南地区について望ましいと考える中心機能

	件数	構成比(%)
商業・業務施設・娯楽施設	935	26.2
医療、福祉関係施設	1,170	32.8
市民交流・コミュニティ施設	321	9.0
文化、教育関連施設	265	7.4
スポーツ関係施設	173	4.9
都市型マンション	264	7.4
その他	167	4.7
不明	272	7.6
計	3,567	100.0

岡谷駅前地区再整備基本計画

を生み出して、都市のアイデンティティーを創出する場でもあります。

全国の都市で中心市街地の空洞化の現象が問題化する中、街に再び住民が住むための「街なか居住」の施策が進められています。

ララオカヤの再整備については、市街地の環境整備および市街地住宅の供給に資するための国の補助事業である「優良建築物等整備事業」等の採択を受け、整備していく計画としています。特に集合住宅部分については、市民に高寿命で高機能な住宅を、低廉な価格で分譲することを目的に、スケルトン・インフィル住宅（構造体を頑強に建造し、内装部分を分離することによって、住宅の模様替えや店舗あるいは事務所として用途変更も可能な高寿命な住宅構造）を国の補助を受けて建設する計画としています。

駅周辺地区の整備事業は、まだ計画づくりの段階であり、事業として実施していくまでには国・県との協議や地元住民、事業者との協働、そして市民のみなさんの意見、要望等をお聞きしながら、慎重に、また確実に計画を進めていきたいというものです。

市街地総合再生計画整備構想図(案)

